

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	兵庫大学短期大学部
設置者名	学校法人睦学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
—	保育科第一部	夜・通信	4	—	13	17	7	—
	保育科第三部	夜・通信			13	17	7	—
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/kouhyou.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	兵庫大学短期大学部
設置者名	学校法人睦学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.mutsumi-gakuen.ac.jp/org/report.html>

「I. 法人の概要」 「5. 役員・評議員・教職員の概要」 「P4」

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2021. 10. 1 ～ 2024. 9. 30	地方自治に関する 識見に基づく提言
非常勤	公認会計士・税理士	2021. 10. 1 ～ 2024. 9. 30	財務に関する識見 に基づく提言
非常勤	弁護士	2021. 10. 1 ～ 2024. 9. 30	法務に関する識見 に基づく提言
非常勤	団体職員	2021. 10. 1 ～ 2024. 9. 30	私学行政に関する 識見に基づく提言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	兵庫大学短期大学部
設置者名	学校法人睦学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) すべての授業科目において、次の作成過程に基づき授業計画書(シラバス)を作成し、WEB(ホームページ)にて公表・閲覧可能にしている。 <作成・公表時期> ・11月～12月中旬 科目担当教員が次年度の授業計画書(シラバス)を作成 ・1月 作成された授業計画書(シラバス)を各学科等の教務委員が内容確認 ・2月 確認後、必要に応じ、科目担当教員が授業計画書(シラバス)の修正 ・3月 次年度の授業計画書(シラバス)決定 ・4月1日 当該年度の授業計画書(シラバス)をWEB(ホームページ)にて公表 <授業計画の記載項目> ①授業概要 ②授業外学習 ③テキスト ④学習状況・理解度の確認 ⑤授業の到達目標 ⑥成績評価の方法と評価の割合 ⑦授業計画(授業内容、準備学修の内容、準備学修の時間)	
授業計画書の公表方法	https://kyougaku.hyogo-dai.ac.jp/ext_syllabus/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各授業科目では、授業計画書(シラバス)に基づき、小テストや課題、ルーブリック等によって、学修成果を把握している。また、授業計画書(シラバス)に示された成績評価の方法(評価の割合)に沿って、厳格な成績評価を行い、点数による成績判定をおこない単位認定を行っている。

<成績評価の方法>

各授業科目の成績評価方法は、「試験」、「小テスト」、「レポート」、「発表・実技」、「授業内課題」、「その他」の方法により、評価を行っている。

なお、授業出席回数が定められた授業実施回数の三分の二に満たない場合は、成績評価の対象としない。

<成績評価の基準>

成績の判定は点数で行い、成績評価は次の基準により評価を行い、「可」以上をもって合格としている。

- (1) 秀 90点～100点
- (2) 優 80点～89点
- (3) 良 70点～79点
- (4) 可 60点～69点
- (5) 不可 60点未満

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価において客観的な指標によるGPAを設定し、学期ごとに教学システム上において、学生及び教職員が把握・確認できるように公表している。

<GPA 計算式>

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

成績評価基準	グレードポイント
秀	4.0
優	3.0
良	2.0
可	1.0
不可	0.0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/kouhyou.html>
【6】学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定・学位授与の方針 (DP) や教育課程編成方針 (CP) を定め、ホームページや学生便覧において公表しており、それに基づいた教育課程を編成した上で、教育を実施し、所定の課程を修了した学生に卒業を認定、学位を授与している。

<兵庫大学短期大学部ディプロマ・ポリシー>

兵庫大学短期大学部は、短期大学士課程教育を通じて、豊かな人間性と高度な専門知識を備え、地域社会に貢献できる人材を育成する。そのため、次の力を身につけ、所定の課程を修了した学生に卒業を認め、学位を授与する。

- ・共生力：自己を見つめ、他者を理解し、感謝の心を持って共に生きる力
- ・思考力：幅広い教養を持ち、物事を深く洞察できる力
- ・実践力：専攻分野の専門的な知識・技能を身につけ、生涯にわたって更新できる力

<卒業の要件>

保育科第一部においては2年以上、保育科第三部においては3年以上在学し、学則に定める授業科目の中から、共通教育科目6単位以上、学科教育科目48単位以上を含め、合計62単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	兵庫大学短期大学部
設置者名	学校法人睦学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.mutsumi-gakuen.ac.jp/org/report.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.mutsumi-gakuen.ac.jp/org/report.html
財産目録	http://www.mutsumi-gakuen.ac.jp/org/report.html
事業報告書	http://www.mutsumi-gakuen.ac.jp/org/report.html
監事による監査報告(書)	http://www.mutsumi-gakuen.ac.jp/org/report.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		
中長期計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:	https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/jiko_index.html
-------	---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:	https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/jiko_ninsho.html
-------	---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育科第一部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/kouhyou.html)
(概要) 保育、福祉の意義を深く理解させ、子どもの「生命、生存、発達への権利」を尊重する精神を養い、幅広い教養や十分な専門的知識、技能を修得させることにより、豊かな人間性を基盤とする資質の高い保育者の養成をめざす。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html)
(概要) 卒業までに次の力を身につけた者に短期大学士（保育学）の学位を授与する。 ・他の保育者と連携して、子ども・利用者・保護者を尊重し寄り添いながら、共に生きる力 ・保育者としての使命感を持ち、保育をめぐる諸課題について、自ら考え解決する力。 ・保育の専門的な知識・技術を持つとともに、社会状況の変化に対応しながら、保育者としての専門性をさらに高める力。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html)
(概要) ディプロマ・ポリシーで示された 3 つの力を身につけるために、次の方針に沿ってカリキュラムを編成し、実施する。 (1) 具体的教育目標 ・保育者になるための基本的学習技術を習得し、主体的に学ぶ態度を身につける。 ・保育者になるために必要な幅広い教養や十分な専門的な知識・技術を習得し、また、それらを活用する力を身につける。 ・多様な保育ニーズや社会の変化に対応できる保育者として、卒業後も自律的に学習を継続する力を身につける。 (2) 編成方針 ・2 年間で保育士および幼稚園教諭の資格・免許が取得できるよう、取得に必要な科目を体系的かつ系統的に配置する。 (3) 教育方法 ・複数教員が担当する授業において、少人数制授業を実施し、個々の学生に合った指導を行う。 ・主体的に学び、相互に実践的な能力を身につけられるよう、模擬保育やグループワーク等のアクティブラーニングを行う。 (4) 評価方法 ・ディプロマ・ポリシーで定めた力をわかりやすく評価するため、取得科目とディプロマ・ポリシーの達成度を関連付けたルーブリックを活用する。 ・シラバス記載の評価基準に基づいた評価を、各科目で厳正に行う。

入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html)
(概要) ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき方針を定め、次のような学生を受け入れる。 (1) 求める学生像 ・保育・福祉に強い関心を持ち、自ら課題を見つけ積極的に学ぶ意欲のある者 ・豊かな人間性と多様な価値観を理解できる柔軟性をもった質の高い保育者になるために、努力を継続できる者 ・保育者としての専門性を生かし、社会に貢献する意欲のある者 (2) 求める学修歴 ・高等学校等の教育課程を幅広く履修している。 ・基礎的な学力およびコミュニケーション能力を有している。 ・クラブ活動、社会貢献活動、ボランティア活動など他者との協働に積極的に取り組んだ経験がある。 (3) 選抜方針 ・さまざまな能力や得意分野、学修履歴を有する多様な入学希望者を、面接のほか、小論文、学力試験、自己推薦書、調査書など多面的な評価基準と方法を用いて選抜する。

学部等名 保育科第三部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/kouhyou.html)
(概要) 保育、福祉の意義を深く理解させ、子どもの「生命、生存、発達への権利」を尊重する精神を養い、幅広い教養や十分な専門的知識、技能を修得させることにより、豊かな人間性を基盤とする資質の高い保育者の養成をめざす。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html)
(概要) 卒業までに次の力を身につけた者に短期大学士（保育学）の学位を授与する。 ・他の保育者と連携して、子ども・利用者・保護者を尊重し寄り添いながら、共に生きる力 ・保育者としての使命感を持ち、保育をめぐる諸課題について、自ら考え解決する力 ・保育の専門的な知識・技術を持つとともに、社会状況の変化に対応しながら、保育者としての専門性をさらに高める力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html)
(概要) ディプロマ・ポリシーで示された3つの力を身につけるために、次の方針に沿ってカリキュラムを編成し、実施する。 (1) 具体的教育目標 ・保育者になるための基本的学習技術を習得し、主体的に学ぶ態度を身につける。 ・保育者になるために必要な幅広い教養や十分な専門的な知識・技術を習得し、また、それらを活用する力を身につける。

・多様な保育ニーズや社会の変化に対応できる保育者として、卒業後も自律的に学習を継続する力を身につける。
(2) 編成方針 ・3年間で保育士および幼稚園教諭の資格・免許が取得できるよう、取得に必要な科目を体系的かつ系統的に配置する。
(3) 教育方法 ・複数教員が担当する授業において、少人数制授業を実施し、個々の学生に合った指導を行う。 ・主体的に学び、相互に実践的な能力を身につけられるよう、模擬保育やグループワーク等のアクティブラーニングを行う。
(4) 評価方法 ・ディプロマ・ポリシーで定めた力をわかりやすく評価するため、取得科目とディプロマ・ポリシーの達成度を関連付けたルーブリックを活用する。 ・シラバス記載の評価基準に基づいた評価を、各科目で厳正に行う。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/policy.html)
(概要) ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づき方針を定め、次のような学生を受け入れる。 (1) 求める学生像 ・保育・福祉に強い関心を持ち、自ら課題を見つけ積極的に学ぶ意欲のある者 ・豊かな人間性と多様な価値観を理解できる柔軟性をもった質の高い保育者になるために、努力を継続できる者 ・保育者としての専門性を生かし、社会に貢献する意欲のある者 (2) 求める学修歴 ・高等学校等の教育課程を幅広く履修している。 ・基礎的な学力およびコミュニケーション能力を有している。 ・クラブ活動、社会貢献活動、ボランティア活動など他者との協働に積極的に取り組んだ経験がある。 (3) 選抜方針 ・さまざまな能力や得意分野、学修履歴を有する多様な入学希望者を、面接のほか、小論文、学力試験、自己推薦書、調査書など多面的な評価基準と方法を用いて選抜する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/kouhyou.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	—人	—					—人
保育科第一部	—	4人	1人	2人	0人	0人	7人
保育科第三部	—	2人	4人	2人	0人	0人	8人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
—		—					—人
3人		54人					54人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.hyogo-dai.ac.jp/research/education/teacher/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教育目標を達成するため、教育改革に係る企画立案等をおこなう学長の直轄組織として F D・S D オフィスを設置している。学部学科、共通教育機構および各部署と協働することにより組織的な F D と S D を推進し、教育活動及び学生支援を充実させ、教育の質の向上を図っている。 また、F D・S D を推進するため、F D・S D 推進委員会を置き、以下のことに取り組んでいる。 ・新任教職員研修（4 月初旬 2 日間） ・授業アンケート（Ⅰ期末、Ⅱ期末） ・授業公開（Ⅰ期、Ⅱ期） ・教育の質向上に向けた学修成果の可視化や教学マネジメントに関する教職員の理解を高める F D・S D 研修会（年 3～5 回） ・教職員間の情報共有および F D 活動促進のための土壌を形成する教職員カフェ（年 3～4 回） ・F D・S D ニュースレターの発行（年 2 回） 上記以外にも、高等教育研究センターにおいて、大学教育改善のための F D・S D に関する研究・開発を行うとともに、公開講演会（年 1～2 回程度）を開催している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育科第一部	100 人	55 人	55.0%	200 人	118 人	59.0%	－人	－人
保育科第三部	80 人	74 人	92.5%	240 人	220 人	91.7%	－人	－人
合計	180 人	129 人	71.7%	440 人	338 人	76.8%	－人	－人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育科第一部	75 人 (100%)	2 人 (2.7%)	68 人 (90.7%)	5 人 (6.7%)
保育科第三部	85 人 (100%)	1 人 (1.2%)	79 人 (92.9%)	5 人 (5.9%)
合計	160 人 (100%)	3 人 (1.9%)	147 人 (91.9%)	10 人 (6.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先 ・兵庫大学 生涯福祉学部 社会福祉学科 ・中部学院大学 通信教育部 主な就職先 ・加古川市立 (公立幼稚園) ・明石市 (公立保育園) ・高砂市 (公立こども園) ・播磨町 (公立幼稚園) ・赤穂市 (公立保育所) ・伊丹市 (公立保育園) ・太子町 (公立幼稚園・保育所) ・若狹町 (公立保育所) ・雲南市 (公立こども園)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) すべての授業科目において、次の作成過程に基づき授業計画書（シラバス）を作成し、WEB（ホームページ）にて公表・閲覧可能にしている。 <作成・公表時期> ・11月～12月中旬 科目担当教員が次年度の授業計画書（シラバス）を作成 ・1月 作成された授業計画書（シラバス）を各学科等の教務委員が内容確認 ・2月 確認後、必要に応じ、科目担当教員が授業計画書（シラバス）の修正 ・3月 次年度の授業計画書（シラバス）決定 ・4月1日 当該年度の授業計画書（シラバス）をWEB（ホームページ）にて公表 <授業計画の記載項目> ①授業概要 ②授業外学習 ③テキスト ④学習状況・理解度の確認 ⑤授業の到達目標 ⑥成績評価の方法と評価の割合 ⑦授業計画（授業内容、準備学修の内容、準備学修の時間）
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 各授業科目では、授業計画書（シラバス）に基づき、小テストや課題、ルーブリック等によって、学修成果を把握している。また、授業計画書（シラバス）に示された成績評価の方法（評価の割合）に沿って、厳格な成績評価を行い、点数による成績判定をおこない単位認定を行っている。 保育科第一部においては2年以上、保育科第三部においては3年以上在学し、学則に定める授業科目の中から、共通教育科目6単位以上、学科教育科目48単位以上を含め、合計62単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。 <成績評価の方法> 各授業科目の成績評価方法は、「試験」「小テスト」「レポート」「発表・実技」「授業内課題」「その他」の方法により評価を行っている。 なお、授業出席回数が定められた授業実施回数の三分の二に満たない場合は、成績評価の対象としない。 <成績評価の基準> 成績の判定は点数で行い、成績評価は次の基準により評価を行い、「可」以上をもって合格としている。 (1) 秀 90点～100点 (2) 優 80点～89点 (3) 良 70点～79点 (4) 可 60点～69点 (5) 不可 60点未満				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
—	保育科第一部	62 単位	☒ 有・無	年間 60 単位
	保育科第三部	62 単位	☒ 有・無	年間 40 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/kouhyou.html		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/kouhyou.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
—	保育科 第一部	700,000 円	200,000 円	1 年次 370,000 円 2 年次 450,000 円	その他費用の内容（年間） 実験実習費 130,000 円 教育充実費(1 年次) 240,000 円 教育充実費(2 年次) 320,000 円
—	保育科 第三部	480,000 円	200,000 円	240,000 円	その他費用の内容（年間） 実験実習費 90,000 円 教育充実費 150,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） クラス担任制により、担任が履修のこと、授業のこと、成績のこと、進路のこと等質問や相談に応じ支援をおこなっている。また、各科目担当教員のオフィスアワーを設定し、学修に係る相談や質問を行えるようにしている。 その他、修学支援事務部署として教学部教務課が窓口となり、学生の修学に関する様々な疑問・相談支援をおこなっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 専門職人材を育成する本学のキャリアサポートでは、学生の希望進路への就職を実現させるために、学科ごとに専任の進路支援担当を配置するなどサポート側も専門に特化した体制を整え、主に次の取組を行っています。 ①学科ごとに専任の進路支援担当を配置 ②希望進路に合わせたガイダンスを実施 ③卒業年次の学生全員との個別面談で状況を把握 ④公務員・教員採用試験対策をサポート ※https://www.hyogo-dai.ac.jp/career/
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 健康管理センターを設置し、学生の悩みや問題などを解決するため、専用の相談室にてカウンセラー（臨床心理士）が「こころのサポート」を実施しています。 ※https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/kankyo/kenkou_kanri.html また、何らかの障害や病気、特性のある学生が学びやすいように、学内の関係部署と連携しながら、修学環境を全学的に整えていくための総合窓口として障がい学生支援オフィスを設置し、学内の関係部署や学外の関係機関と連携しながら、修学支援を行っています。 ※https://www.hyogo-dai.ac.jp/campus/shogaisha_office.html

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.hyogo-dai.ac.jp/guide/shokai/kouhyou.html

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	兵庫大学短期大学部
設置者名	学校法人睦学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		62 人	58 人	64 人
内 訳	第Ⅰ区分	35 人	33 人	
	第Ⅱ区分	18 人	17 人	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0 人
合計（年間）				64 人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0 人	0 人	—
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	—	—	0 人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当	—	0 人	—
計	—	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0 人	前半期	0 人	後半期	0 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0 人
3 月以上の停学	0 人
年間計	0 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	—	—
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。